寫眞週報

情報局編輯
一月廿一日・第二百四號・十セン

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

時の立札

もし、空襲があるならば
それは日本本土の爆破を目的とはしてゐない
諸君の心を破壊しようとしてゐるのだ
そんなことで僕等の大和魂が揺ぐものか

緒戰の初春を飾る

一月八日陸軍始觀兵式　東京代々木原頭

大東亞戰爭第二年、戰捷の新春を飾る陸軍始觀兵式は、一月八日、畏くも　大元帥陛下の親臨を仰ぎ奉り、東京代々木練兵場において、いと嚴かに擧行され、全世界を慄倒させてゐる無敵皇軍の威容を堂々中外に顯揚した。

寫眞――大地を壓して鬼々と驀進する巨砲の群陣、天空を蔽ふて轟々分列する荒鷲の大編隊。これぞ、いまマレーにフィリピンに米英の根據地を木っ葉微塵に打ち碎き吹き飛ばしてゐる、あの荒鷲だ、あの巨砲だ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

緒戰の初春を飾る

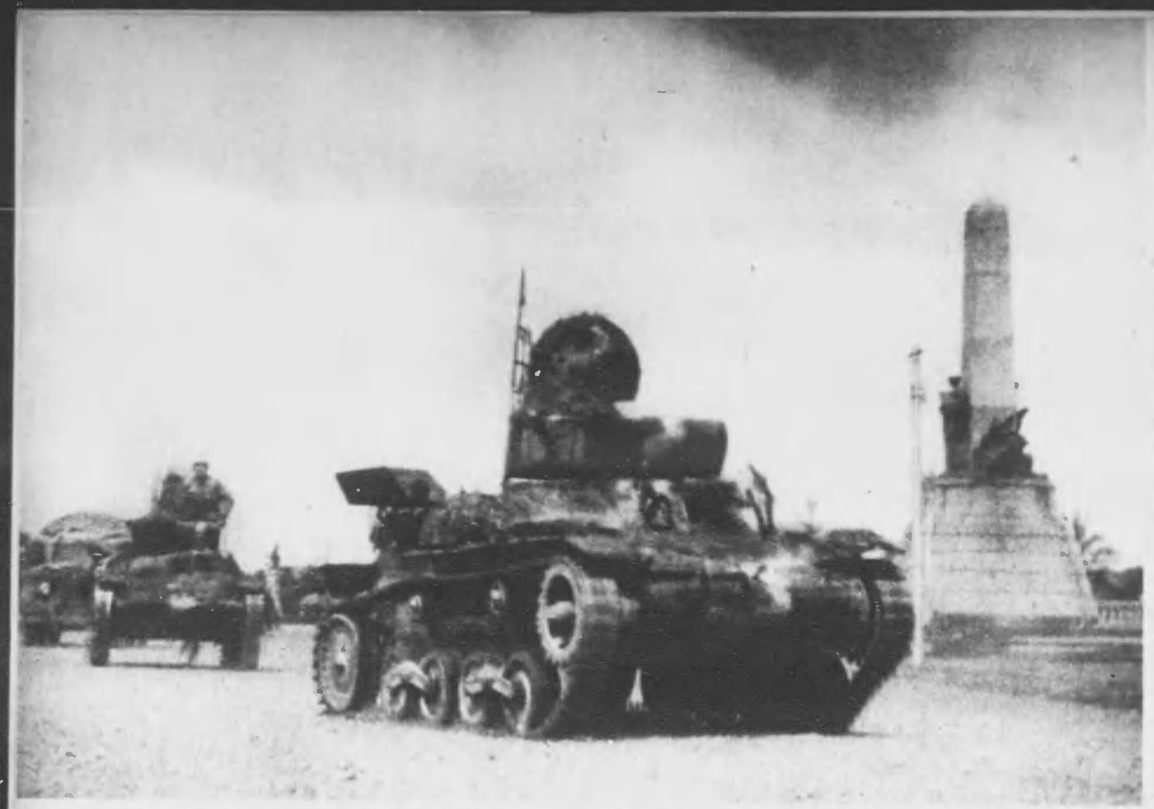
一月八日陸軍始觀兵式　東京代々木原頭

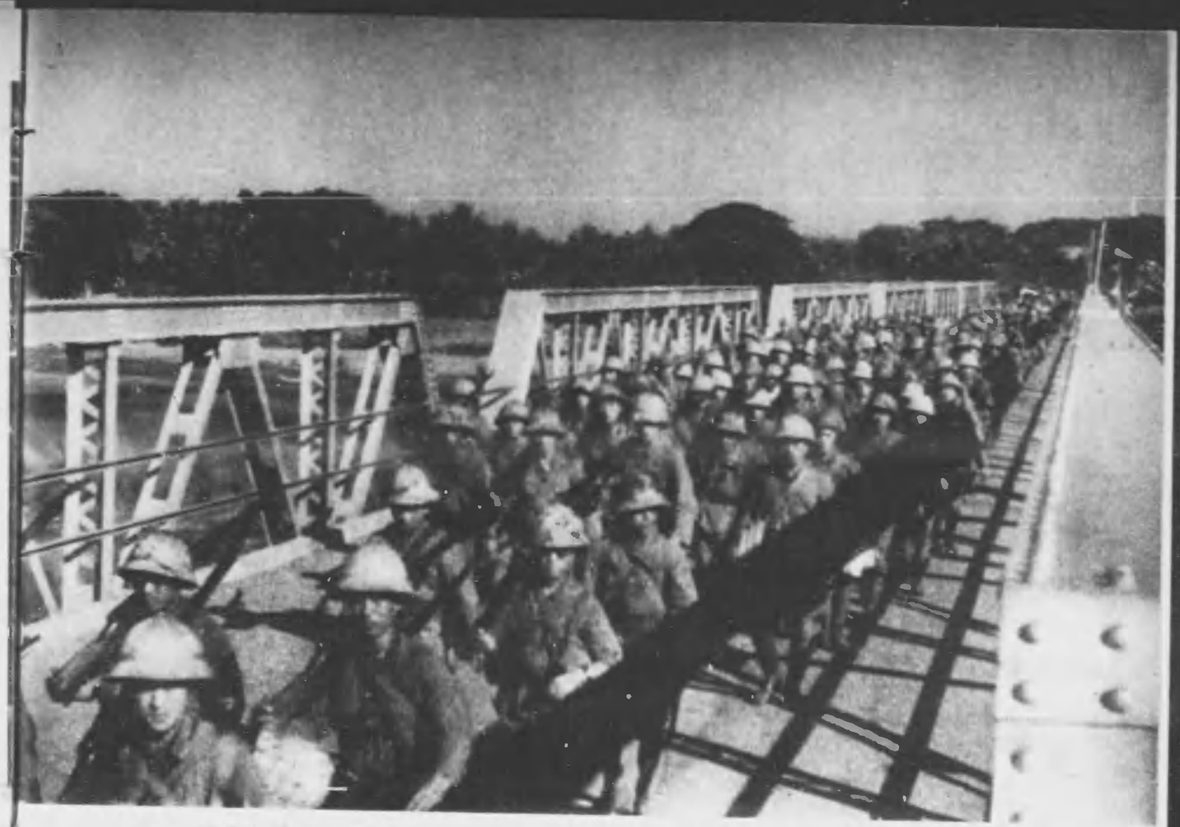
錦旗旭日に燦と輝く。御愛馬『白雪』に召させ給ふ、大元帥陛下には、各皇族殿下を初め奉り、諸將星を從へさせられ、橫山侍從武官の御先導にて順次各部隊の威容を御親閲あらせられた

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

マニラ陥つ

一月二日





撮影　日本映畫社

堂々激戰の跡なほ見せるマニラに迫る皇軍部隊。アジアからアメリカの敵性を完全に驅逐する日の感激が軍紀に交つて高らかに響く

日本軍入城と同時に、住民に皇軍の眞意を伸べて、その協力を要望する部隊幹部

焦土戰術、それは弱者に殘された最後の作戰であり、且つ最大の罪惡である――バタアク河に炎上する敵の輜重、敵が苦しまぎれに火を放つた主の

マニラにも遂に日章旗は翻つた。わが陸海の精鋭がルソン島に敵前上陸の第一歩を印して以來正に二十四日目、一月二日皇軍部隊は威風堂々市民歡迎裡にマニラに無血入城したのである

開戰と同時にフィリピンが、更にマニラかわか軍の攻擊の砲火に曝されることは當然豫想されたところであるが、アメリカが東亞侵略の最大牙城と頼み、堅牢無比を誇つたマニラが、かしる短期間にわか軍門に降るとは誰が豫知したであらうか

マニラ陥落は、アジアに於けるアメリカの侵略史に完全に終止符を打つフィリピンのアジアへの復歸によつて、大東亞共榮圏確立の偉業に一大飛躍を遂げた。今や時日の問題となつたシンガポールの陥落と共に、大東亞戰爭は開戰以來僅かに數ケ月にして決定的段階に突入するであらう

リザール記念塔前を鐵牛部隊が蠢々進擊する。地下に眠る比島獨立の志士リザールの靈も心から、今日の日の萬歳を叫んだであらう

美しいマニラの市街を出來るだけ戰火から救ふためめ皇軍はとれだけ作戰上の不利を忍んだか　だが基底なアメリカ軍はマニラ撤退に際して市内各所に火を放ち、比島人のマニラを焦土化せんとした

大東亞戰爭圖

大東亞戰爭日誌

三十一日 ●海軍艦艇はヒロ港（ハワイ島）カワイハイ港（マウイ島）ナウイリウイリ港（カウアイ島）を砲撃攻撃、各港主要軍事施設を破壊炎上せしめ、ヒロ港湾内に繋ぐ中の敵艦艇一隻を撃破

●英領ボルネオ東一帯の油田部隊はブルネイ湾を占領ブルネイ市を完全占領

一月

一日 ●マレー半島日本軍はペナンを奪取し同地部隊をもって完全占領

二日 ●マラッカ海峡の敵艦船を攻撃せる陸空軍はモアル岬沖にて大型貨物船一隻を撃破、瞬時にこれを撃沈、また他の一隻はカンパル、チコル間の地区において敵走中の敵自動車群を急襲、その多数を撃破

●タワウン西南飛行場を占領

●イポー攻略後の陸軍は夕刻カンパルを完全占領

三日 ●黎明、陸空軍は大挙シンガポールを空襲し同港、チンガー飛行場、センバワン飛行場ならびに敵重要軍事施設を爆撃し四ケ所以上に大火災を生ぜしむ ●バタアン半島に進撃を強行中の部隊は午後パラッカル攻略

四日 ●陸空軍飛行隊は午後ビルマ領ミンガラドン飛行場（ラングーン近郊）を襲撃して空中戦を演じ敵スピット・ファイアー六機を撃墜する空中戦を交えつつ敵を撃破

●バタアン半島マリベレス地区を攻略

五日 ●四日及び本日ラレセドール、マリベレスに対し猛撃を加え敵水上機母艦一隻を撃沈、敵艦船一隻を大破、港内碇泊船舶を撃破、同一隻を撃沈

六日 ●五日より本日にわたり陸空軍はシンガポール飛行場を反復襲撃し敵の地上諸施設、格納庫および弾薬庫等に大火災を生ぜしむ

七日 ●一日以来バタアン半島方面の陸空軍は特にリマイ、パランガ、スビック等の要衝に蝟集せる敵を捕捉すると共に車輌部隊および砲兵部隊の攻撃は自動貨車百四十六輌を破壊、鉄道一基を撃沈

●マレー西海岸のトロラク（クアラ・ムダ）北方九十キロ北方地点の敵部隊を包囲攻撃せる戦果（一）鹵獲品＝重砲（十二センチ榴弾砲）十二門、野戦重砲十門、迫撃砲（五門）自動砲二十門、装甲車五十輌、自動車五百輌（二倍）、捕虜約二百、遺棄死傷約二百

八日 ●帝國海軍水艦はジョンストン西南方洋上において米大型輸送船ランゲレーを撃沈 ●午後、陸空軍はビルマ領モールメン港を急襲し大型汽船一隻、中型汽船四隻に多数の命中弾を浴せると共に停車場および埠頭設備を撃破

●マレー西海岸の撃滅中の部隊は夕刻はタ刻ランジョンマリム通過

十日 ●陸空軍は午前クアラ・ムダ北方において敵の自動貨車二十二、戦車、装甲車七を、カヤカヤ付近において敵兵を満載せる自動車をそれぞれ撃破

十一日 ●帝國政府、最高各種の軍事的挑戦に出で来たる和蘭政府の敵対行為破砕と帝國臣民の生命財産擁護のため本日から戦闘開始を発動 ●本朝、陸海軍部隊と共同ボルネオのタラカン島に、海軍特別陸戦隊はセレベス島メナドに敵前上陸

十二日 ●夕刻、帝國潜水艦はハワイ西方洋上において米国太平洋艦隊所属航空母艦エンタープライズ型二万三千トンを雷撃、同艦に命中せしめ沒せしめたる模様

英領ボルネオ線戰

英領ボルネオは今や完全にわが軍の制するところとなつたその有する無盡蔵な石油資源が、今後わが軍の戰爭遂行に重大な寄與をなすことは言ふまでもないが一月十二日に發表されたわが軍の蘭領ボルネオ並びにセレベス島敵前上陸によつて將來蘭領印度の尾大な石油資源がこれに參加することになれば、わが石油封鎖が完璧となる日も間近いことであらう

⇧ わが軍に拿捕されたイギリス石油會社の汽船アンゼス號とオロング號

⇦ 皇軍勇士の前に住民達が武器を捨て、協力を申でた

クワラサ

撮影 日本映畫社

新戰場辭典

蘭領ボルネオ

一月十一日わが陸海軍は和蘭軍に對して敢然戰鬪を開始し、同日未明蘭領ボルネオのタラカン島、セレベス島メナドに敵前上陸を行ひ、日章旗は遠く蘭印にも翻へるに至つた

わが國は米英兩國とは戰端を開いたが、和蘭に對しては出來れば蘭印住民に戰禍を及ぼさないやうにとの考慮から敵對的行爲を差控へてゐたが、和蘭政府は對日宣戰を通告して來たばかりでなく、以來和蘭軍はわが國に樣々な敵對行爲に出て、更に最近は蘭印を米英蘭の對日抗戰基地とするに至つたのである。隱忍にも限度があり、わが國としてはつひに堪忍袋の緒を切つたのであつた

蘭領ボルネオは島の中央山脈を境として西部一帶の廣大な地域で全島の約四分の三を占めてゐる。その大半はほとんど未開地域で熱帶樹の處女林に覆はれ、埋藏資源は石油をはじめとして石炭、金、白金、[illegible]金剛石、ゴム、木材等の多くの資源も大半はまだ開發の緒についたに過ぎない。その最大の理由は交通の不便によるもので現在交通機關としてはほとんど河川を利用してゐる。河川は中央山脈から放射狀に流れて海に達し、支流を合して大河となつてゐる。その流域一帶は地味肥沃で無盡藏の埋藏資源があり、沿岸には[illegible]大小の部落が散在してその間を小型汽船が相當上流まで運航してゐる。住民は全島で約二百万人、そのうち百四十五万がインドネシア系ダヤーク族、マレー人その他十五万、華僑は約十五万人といはれてゐる。歐米人約二千人は官公吏、銀行會社員等で政治上、經濟上の實權を握り、土人を驅使して資源を獨占してきたわけである。

蘭印の石油はこの埋藏量は[illegible]バーレル（一バーレルは約八斗八升）年産額約八百万トンといはれ、そのうちボルネオの産出量は約百七十万トン（昭和十五年）である。[illegible]ボルネオの主な油田は島の中央、東部の上陸したタラカン油田、南東のバリクパパン、サマリンダ、サンガサンガ[illegible]、バリクパパンには[illegible]大製油所がある。これら油田をはじめ蘭印の石油生産の約[illegible]は英米の資本に壟斷されてゐる。

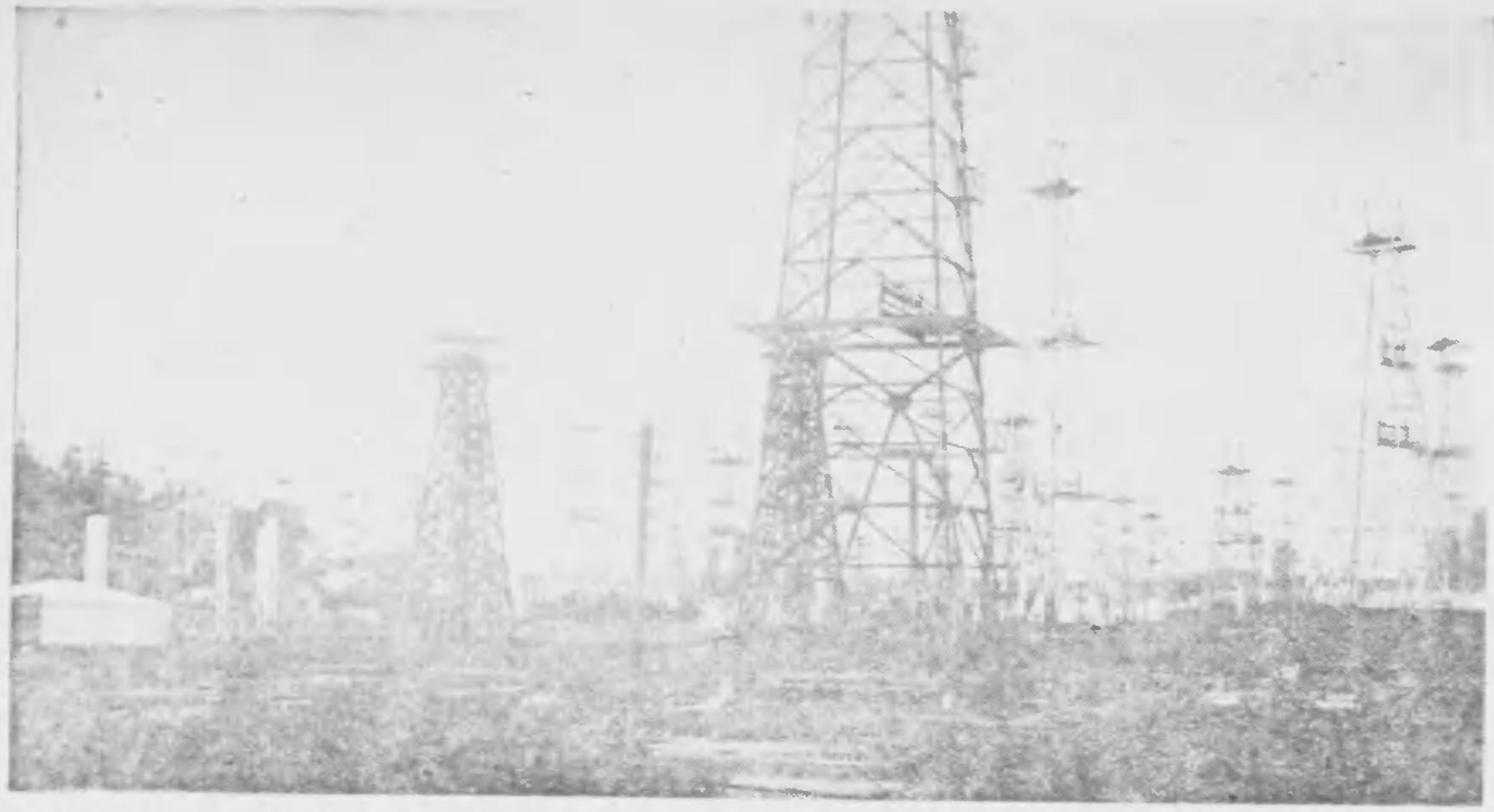
石油の島タラカン島はこの東北端にある小島で人口約一万、年産約八十五万トンの石油である。油質は重質油といはれるガソリン分を含まないものだが、そのまゝで優秀な燃料油やディーゼル油として使用でき、また機械油の精製にも好適である。同地には石油輸送管が[illegible]

[illegible]

てゐたとはいはれてゐる。しかもこれらの軍事基地はフィリピン、英領ボルネオに對する[illegible]作戰にあたり米英の傀儡として盛んに利用され、蘭印を露骨に示したものだつた。さらに日本軍進擊にそなへてこの方面に常備兵を續々送り防備を嚴重にしてゐたのであつた。[illegible]

英米が蘭印を重視してきた理由はその莫大な投資額によるがこれを軍事的にみるとイギリスにとつては蘭印はシンガポール、濠洲、ニュージーランドを結ぶ線にあり、またシンガポール、ダーウィン、香港を結ぶ三角地帯の一環としてイギリスの東亞政策の安全瓣として重大なもので、これを斷ち切られることは蘭印の油を軍事的に保有して[illegible]とするイギリスにとつてまさに大脅威である。アメリカとしては[illegible]東亞共榮圈に入ることをあくまで妨げようとしてきた。さらにアメリカが[illegible]輸入する重要な軍需品に必要な錫やゴムはもし蘭印が日本の勢力圏に入ると自國への輸入が[illegible]たれ[illegible]大きな[illegible]と考へて[illegible]蘭印をアメリカが[illegible]

[illegible]



世界屈指の産油地タラカン油田地帯

バンジェルマシン地方ランタウ街の廣場

蘭領ボルネオ某地の石油採掘工事

蘭印の敵性

[illegible]
石橋恒喜

對英恐怖から對日恐怖へ

蘭印の動向は、極く大雑把に分けると第一期對英恐怖時代、第二期對日恐怖時代、第三期侮日時代となる

對英恐怖時代といふと、ちよつと妙のやうに聞えるが、元來和蘭といふ國は人種的にみても、言語的にみても、王室からみてもドイツと非常に關係が深いので、親獨的の傾向にある國であつた。第一次歐洲戰の時には例のカイゼルが蒙塵した程の國柄である。しかも絶えず中立政策をとつてゐた關係上、英國から壓迫を受けてゐた。軍備は一九三〇年の統計によると、二ケ師團三万七千ぐらゐで、日本の警察程度の兵隊で治安の維持にあづかつてゐた。この蘭印が軍備擴張を始めたのは、一九一九年で、日英同盟が廢棄された直後、イギリスがシンガポールの要塞の建造計畫案を發表した時からであつた。これを以てみてもその軍備擴充等の目標は、英國であつたことがわかる。これをみたイギリスは支那の反英運動を反日運動に轉じさせたと同樣手段で昂ぶつた蘭印の對英感情を反日運動に轉換させることに成功した。それは第一次歐洲大戰後世界的不況に見舞はれた際であつたので、蘭印における貿易は日本の獨擅場となつてゐた。この狀態をみたイギリスは蘭印當局に向つて、このまゝでいつまでも貿易を續けてゆくと、日本のために亡ぼされてしまふぞと警告した。和蘭はこの警告に吃驚して對日恐怖を抱くやうになり、だん〳〵排日の國と化してきたのである

排日侮日のかず〳〵

その手始めとして蘭印は日本からのセメントの輸入を制限したり、綿織物の輸入を制限するといつた日本の商品に對する苦しい壓迫を加へた。その結果、長岡大使などが昭和七年から奮鬪して日蘭關係の緩和に努めたのであるが、彼らは何處吹く風かとてんで相手にしないばかりか、つひに日本人の入國を禁止する目的で、外國人入國制限法といつたものを發布した。その後一昨々年、ドイツがポーランドに侵入すると同時に、蘭印では今度こそ、日本は蘭印を攻擊してくるぞと考へて、いよ〳〵敵性を濃厚にしてきた。といふのは、日獨伊防共協定の裏面には必ずや軍事的密約があると考へたからで、バタヴィアやバンドンあたりでは防空壕を盛んに掘り始めた。その中に、和蘭本國は一昨年五月にドイツ軍のために

新戦場辞典

セレベス島

『赤道直下にかけられたエメラルドの帶』といはれてゐる。灼熱の太陽、緑の島、これに映える日の丸の美しさこそ世紀の壓巻であり、われわれ日本人の限りない感激であらうう

さて、地図を披き、故國を離れた幾千キロの異郷に聖戰の幟を執る皇軍特兵に感謝を捧げながら、新らしい戰場セレベス島の概略を述べてみよう

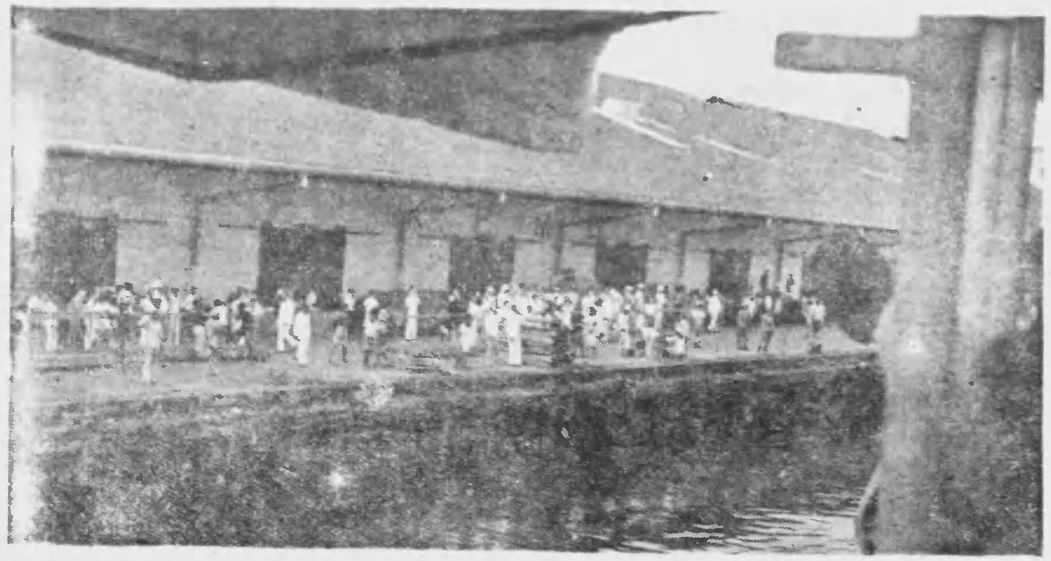
セレベス島は、開戰まもなく皇軍が敵前上陸を敢行したフィリピンの半島で、北部にはコーヒー、煙草、樹、西南部には煙草、砂糖、コーヒーが多く栽培されてをり、牧畜による皮革と共に主要な輸出品をなしてゐる。ほかこの外、原住民の耕作物としては特にココヤシ椰子油を採るココ椰子、米、甘藷が栽培され、森林からは黒檀、樹脂等、海からは魚類、珊瑚貝、鼈甲等を産する

行政上セレベス島は、セレベスとミナハサの二大地方に分れてゐて、本島の首府は、南海岸のマカッサルである。人口約九万。セレベス島の知事が駐在してゐる。今度われ東が占領したのは北端ミナハサの首都メナドである

メナドはセレベス海の扇の要にも當る重要な港で、前世界大戰に活躍したドイツのエムデン號は一時ここに食糧を補給してゐたとの逸話がある位である。また前に蘭印政府は農業地を控へるもので、貿易港としても有名マカッサルに次いで重きをなしてゐる。市街は美しく商業地域、支那人街、歐米人街等に分れてをり、人口は約三万といはれてゐる。邦人は、メナドを含むミナハサ一帶に約二百人位住んでゐる。住民は前に述べたミナハサ人で、蘭領印度中一番教育程度も高く文化的に相當進んでゐるが、面白いことに容貌は日本人そつくりで、非常に親日的であり、中には『自分達の祖先は日本人である』と信じ込んでゐる者がゐることである

蘭領印度はオランダの實庫といはれ、オランダは永い間、苛酷かつ巧妙極まる方法で、原住民を搾取し、蘭印の富を壟斷してきた。だが今や自ら招いた結果とはいへ、オランダが蘭印より總退却の日も遠いことではなくなつた。もう一度いふが、われわれは、大東亞戰爭の規模の大きさを十分に銘記し、國民全部が南、はつきりと眼を開かなければならぬ秋である

⇦ セレベス島の中央部に住む原住民の女たち



⇦ マナッサル港の埠頭

⇦ ポソ港から黒檀の積み出し

⇦ 皇軍が敵前上陸したメナドの市街

ミンダナオ島の南、また今回同時に攻撃を開始されたボルネオ島の東に位置する面積十八万九千三十五平方キロの島で、人口は約四百二十五万である。あまり大きな島を持つてゐないわれ〳〵には、セレベス島の大きさを數字を見ただけでは餘りピンと來ないだらうが、わが臺灣の數倍の面積を持つてゐるのである。以て大東亞戰の規模の雄大さを十分心に止めておかねばならぬ

住民は、南部及び海岸では大概回教を信じてゐるブギネス人並びにマカッサル人、北東部ではキリスト教に歸依したミナハサ人で、その他は異教のアルフラ人であるが、この中には未だ首狩の慣風を有してゐるものがあるといはれてゐる

この島のうちで割合に經濟的開發が進んでゐるのは、北部及び西南の海岸で、北部にはコーヒー、煙草、樹、西南部には煙草、砂糖、コーヒーが多く栽培されてをり、牧畜による皮革と共に主要な輸出品をなしてゐる。ほかこの外、原住民の耕作物としては特にココヤシ椰子油を採るココ椰子、米、甘藷が栽培され、森林からは黒檀、樹脂等、海からは魚類、珊瑚貝、鼈甲等を産する

行政上セレベス島は、セレベスとミナハサの二大地方に分れてゐて、本島の首府は、南海岸のマカッサルである。人口約九万。セレベス島の知事が駐在してゐる。今度われ東が占領したのは北端ミナハサの首都メナドである

メナドはセレベス海の扇の要にも當る重要な港で、前世界大戰に活躍したドイツのエムデン號は一時ここに食糧を補給してゐたとの逸話がある位である。また前に蘭印政府は農業地を控へるもので、貿易港としても有名マカッサルに次いで重きをなしてゐる。市街は美しく商業地域、支那人街、歐米人街等に分れてをり、人口は約三万といはれてゐる。邦人は、メナドを含むミナハサ一帶に約二百人位住んでゐる。住民は前に述べたミナハサ人で、蘭領印度中一番教育程度も高く文化的に相當進んでゐるが、面白いことに容貌は日本人そつくりで、非常に親日的であり、中には『自分達の祖先は日本人である』と信じ込んでゐる者がゐることである

蘭領印度はオランダの實庫といはれ、オランダは永い間、苛酷かつ巧妙極まる方法で、原住民を搾取し、蘭印の富を壟斷してきた。だが今や自ら招いた結果とはいへ、オランダが蘭印より總退却の日も遠いことではなくなつた。もう一度いふが、われわれは、大東亞戰爭の規模の大きさを十分に銘記し、國民全部が南、はつきりと眼を開かなければならぬ秋である。況んや、日本の旅行者などに對しては、非常に苛酷な待遇を續けてきて、例へば、日本の旅行者が蘭印に上陸するや、司法省の移民局に喚び出して、絶對にお前達はこゝに滯在を許さない、直ぐに歸國退去すべし、もし退去しなければ移民收容所に拘り込んでしまふ、といつた命令をするので、旅行者の方では今歸れといつても便船がないから、濟まないが日本から便船のあるまで暫く待つてくれといふと、船のあるとかないとかは我々和蘭人の知つたことではない、もし船がないのならば、日本まで泳いで歸れといつた理不盡な命令さへ出してゐる

今ぞ斷乎鐵槌下る

最近に至つては、ABCD線の中心であるといつた自惚れから、飽くまでも對日一戰を辭さずといつた空氣を濃厚に表はしてきた。對日強硬論者のファンモークは今迄の大東亞戰爭物發と同時に、『火中に栗を拾ふ無謀』を指摘する親日穏派を斥けて蘭印政府の上層部を斷行、和蘭軍を英米戰線に送つてゐたしかしかくも蘭印が示した對日慢慢無禮の態度に何時の日か、彼の上に鐵槌が下りないと誰が保證し得たらうか、昭和十七年一月十一日、遂に皇軍の蘭領ボルネオ及びタラカン島の進駐によつて、彼等への鐵槌は斷乎下されたのである。それにつけても蘭印が米英の尻馬に乗つて火中の栗を拾ふに至つた、その罪は實に憎むべきものである

占領されてしまつたが、このドイツと我が國が同盟を結んでゐるといふ理由で、蘭印は敵は日本であると合點して排日に一層の拍車をかけてきた

その表はれは、日本の漁船がシンガポール附近にあるビントン島で、和蘭海軍飛行機のために襲撃されて實彈の洗禮をうけたことである。それに次いで、マデランといふ所では和蘭の泥酔した水兵に日本の商店員が袋叩きにされて、重傷を負つた事件がある。それから間もなく、第二次日蘭會商の開催といふことになつて、小林商相が全權となつてバタヴィアに乗り込んできた

第二次日蘭會商の前後

この會議はご存知のやうに、蘭印は初めからこの會議を纏めて意志はなく、皇軍の佛印進駐や日獨伊同盟の事實を指摘して、決裂に導かうとわが全權團に喰ひ下つてきた。小林全權がかくして歸國した後は、排日氣運は一層昂つて、恰も和蘭女皇陛下の施政五十年記念日に當つて、我が邦人が敬意を表して和蘭國旗と日章旗を戸毎に掲げたところ、これを引きずり下して壞却したといふ、日章旗暴行事件が惹起されたのである。更に東洋のドイツ人即ち日本人を驅逐すべしといつた激越な文書が配布されるに至つたのである。また首府のバタヴィアで夜、日本人の主婦が車で通つたところ、これを見た警官が引摺り下して袋叩きにしたといつた事件も起り、日本の全權團、軍人などに對してさへも無禮な態度を續けたのである。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

香港の新發足

東亜の海に浮かんでいる一宝石を奪いた日軍の香港攻略から早くも約一ケ月、いま香港は同胞と東亜人と新秩序建設の重要拠点としての燃ゆる新生の力強いおたけび呼吸をはじめた

治安は確保されて、難民と緩々と歩いてきて、街を自由に取り戻した民衆の表情には生々とした明るさが現れてゐる。ようしか香港の明日に約束されるものの一つは、大陸経済の一中心としての役割であらう。世界とつながる香港に重慶政府イギリスの金融資本方面を満洲として、支那経済を支配してきたのであるが、これはシンガポールを中心として西南太平洋の経済網を掌握せんとしてイギリスが設行してきた貿易通貨、銀行などの一つとして香港はかねて、マレーから北は上海まで法通用を持ち、直接的には南支の経済を支配してきた香港ドル——法通銀、法人ドルといはれてゐた——をはじめ、この通貨を左右した香港銀行をはじめ主として商業資本を對象として、英米煙草会社、アジア火油会社、鐵、ゴム、ドック、電燈、ガス等の諸事業をおさへ、この東亜経略の媒介となつてゐた。しかしこれらのものは今は既にわが手によつて存分に處置することができるのである

地理的地位からみても西南太平洋経済と北方人陸経済の接合点にある香港が共栄圏経済の中枢となることは正に明らかなことである。昨日と異つて面目を一新した香港は輝かしく浮び上ることであらう

わが軍の要求によりて、軍政顧問長官陸軍報道部長、及び海軍報道部報道官の和仁、[illegible]両氏は、[illegible]軍の勝利に説明し、わが軍の勝利に感激する

わが繁栄からの発する永上峰の勇姿に香港市民の信頼の安堵と信頼と感謝の眼かそそいでゐるのだ

⇨無線電信室上より、左端として、攻略なつた香港に見入る海軍報道部報道官和仁見海軍、浜井陸軍報道部

⇦わが陸戦隊の警備下に治安と回復した、暴虐イギリスのうらたき搾取に苦しんでゐた民衆は早くも結合とわが家に戻つてゐた

⇦皇軍攻略の威容を知つた民衆の顔には安堵の表情があふれてゐる。そしてここ香港島の繁華街には昨日の暗々しさ、峠つて、明朗さがとりかへされ、街は活気を帯び、この街の性格は一変したのだ。新秩序建設にむかつて

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

衣類全部に切符制

（乙種切符の表と甲種切符の内容）

着物も切符制に

われ／＼國民が日常、身の廻りに着けてゐる衣料品が愈々**二月一日**から切符制になります。これはもと／＼その原料の綿や人絹、ス・フ、羊毛、麻等の纖維が、絹をのぞいては大部分が原料なり纖維として外國から輸入しなければならなかつたのですが、支那事變以來軍需資材、生産擴充資材を確保するために一般國民の使ふ衣料品は國内生産で賄ふことができる限度に供給量を減らしてきたのです。しかしもと／＼わが國民の衣生活は複雑で各家庭に相當量の蓄積を持つてゐたので、晒、手拭等の特に消耗の激しいものの他は戦時下數年に亘るにも拘はらず事缺くことがなかつたのですが、對米英撃滅の火蓋をきつたわが國としては衣料品についても愈々切符制によつて消費を制限し、最低生活を確保しなければ[illegible]

[illegible]

わが國では はじめての點數制による綜合切符か採用されることになつたのです

[illegible]

さて、この切符で買ふことのできる衣料品の種類や點數は、わが國民生活の複雑さを考慮して、和洋兩様の非常に廣い範圍に亘る被服類、身の廻り品を取上げてあります。これはわが國の衣料品が單純化されてゐないためどうしてもこの程度には網羅しなければならないのです。目下政府では單純化を図つて生産を集中するやうな計畫を進めてゐますから、いづれ種類も點數ももつと單純なものになる筈です。この切符からは除外されるものとしては、蒲團、蚊帳、製綿、疊物、結類、カーテン、敷物等や工場、鑛山、農山漁村の勞働者に特別配給される軍手、作業衣、理容業衣、旅館、料理店等に業務用として配給される手拭、敷布、浴衣等があります。その他は古着のやうな中古品までも切符制の適用を受けることになつてゐます

衣類と點數

次ぎに衣料品中特に日常生活に縁の深いものとその點數をかゝげますと

一、織物類 小幅織物一反、二四點。長地[illegible]

二、和服類 [illegible]

三、洋服類 [illegible]

四、作業被服類 [illegible]

五、肌着、身廻用品類 [illegible]

六、家庭用品類 [illegible]

切符の種類

切符の種類は前記のやうに甲種と乙種になつてゐて、甲種は總點數八十點、乙種は百點の小切符がついてゐて、その他に二十點の有効期限の書いてない小切符がついてゐます

乙種切符 これは市制施行地と六大都市の隣接町村で商工大臣の指定した地域に住んでゐる人に、**甲種切符**はその他の地域の人々に年一枚交付し使用することになつてゐます。この甲乙の點數の差はその生活様式の相違からくる差違によつて決められたものです

有効期間のない二十點は豫備の小切符で商工大臣が有効期間を指定する時に使ふのです

なほこの他に制限小切符があつて、晒布、ネル十五碼、手拭またはタオル二筋、靴下または足袋四足のほかに乙種は甲種より靴下または足袋二足分餘分がついてゐます。この制限小切符をつけたわけは、これらの日常生活に必要な品だけは最低限度の配給がなければ生活に差支へるので、これを無制限に買ひ漁ることができないやうに、點數切符と一緒にこの制限切符を出さなければならないやうにしてあるのです

さて次のやうな場合には特に甲種又は乙種の切符をそれ／＼交付されることになつてゐます **（一）婚約の整つた女子**（五枚以内） **（二）姙娠五ケ月以後の婦人**（一枚以内） **（三）火災、水害等の罹災者**（五枚以内） **（四）盗難にあつた人**（一枚以内） **（五）外國に居住する者で内地を旅行する者**（二〇點以内）その他特別の事情ある者には交付されることになつてゐます

むすび

これからは以上のやうな方法で衣服、身の廻り品を買つてゆくことになるのですが、こゝでわれ／＼が考へてみなければならないことは、家庭生活もこれに従つて切りかへてゆかなければならないといふことです。しかしすでに國家の經濟は、物と、それを使ふ方向によつて計畫的に動かされてゐるのですから、われ／＼の家庭生活もこれに従つてゆくべきは當然のことだつたのですが、まだ／＼一般には物の豊かにあつた時のことが忘れられず、ともすると買漁りや、買溜め等が行はれてきたのです。しかしこの衣料の綜合切符制の實施を機會に、あくまでも計畫的に家庭生活を建直してゆかねばなりません。なほその上に切符で必ず買へるのだからといつて、物を粗末にせず、つねに節約につとめて、これ以上の事態が幾年つゞいても困らぬだけの餘裕を保つてゆくやうに努力してゆきませう

第一回大詔奉戴日

東京日比谷公園

戰爭完遂の源泉日として、一億國民が初に迎へた『大詔奉戴日』の一月八日、全國のあの町この村では、宣戰の大詔が渙發されたあの日の感激も新たに各種の國民的行事を催して、いよ／＼擧國戰爭完遂の決意を固めた　東京日比谷音樂堂で開かれた國民合唱大會

⇨學校から四、五里の山の中へ、増産部隊は進駐する。先頭には、たゞ、組織振興隊旗が輝くものの高らかな意気を謳歌してゐる

撮影　梅本忠男

燃料戦士大夫大

宮崎縣大東村

「都會の人が不自由しないやうに、しつかり頑張ります」可憐な氣焔をあげて

⇨額を伝ふ汗を拭はうともせず、はつし、はつし、と手斧を打ちこむ。使命を負ふた若い力が、精魂を打込んだ逞しい姿だ

かーん、かーんと深山に木魂して活氣に充ちた斧の音が朝霧をついて響く。未明に學校を進發した増産部隊は早くも立樹の伐採に敢闘の斧を振ひ始めたのだ

これは木炭増産に挺身する宮崎縣南那珂郡大東村青年學校の頼もしい姿である

自動車ばかりでなく最近は漁船などの木炭化まで叫ばれてゐる折柄、單に援房用としてばかりでなく、動力用燃料としての木炭の重要性は今更多言を要しない。正に生産擴充の時局的な動力源である。一塊も多く造らう！　これが合言葉となつて、現在、木炭の生産地ではその増産に必死の努力を拂つてゐる。宮崎縣は全國でも有數な木炭生産縣として知られ、全縣一致して増産に邁進してゐるが、その一翼を擔つて驀起したのかとの大東青年學校なのである

昭和十五年には早くもその眞剣な協力振りが認められて縣知事から表彰を受け、十六年には縣の木炭増産指定校となつた。最初は單にお手傳ひから始まつて次には村有林を開放して貰ひ、現在では學校として山を買ひこむ昨年中には二千俵以上も焼きあげたといふ八名の職員を先頭に男女五百名の全生徒が一糸乱れず増産に精進する姿は實に健氣なものである

品質がよいので知られてゐる日向炭が大阪、神戸、京都などの消費地に割合に不自由なく出廻つてゐる陰には、かうして祖國振興隊旗の下に集ふ若人たちの不斷の努力があることを忘れてはならない

⇧火の入つた三基の窯から、白煙が濛々と上る。伐採から始まつて、樹落し、窯への積み込みと、劇しい苦勞の半ばは終つた。さあもう一ふんばり！

⇦百キロを遥かにこえる大丸太が窯に積みこまれる。窯は一回に百二三十俵から二百五十俵もの木炭が生産されるといふ大規模なもの

⇨汗の結晶が山と積まれてゐる。貨車に積み込んで消費地に送り出すまですべて生徒たちの手で行はれる。微頭徹尾の協力ぶりである

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

お蜜柑を兵隊へ

和歌山の女學生奉仕

⇦ 凱歌をあげて組合事務所へひきあげる蜜柑摘み部隊

⇦ 山と積まれた素柑は芳醇な香りと眞新らしい木箱に詰められてゆく

⇦ お正月は蜜柑から。待ちかねる村へ町へ——八百萬箇の蜜柑箱で村の街道は氾濫する

⇦ こんどもとときやもつてきてあげよう、有田蜜柑の枝折りを一段々畑を唄で登る

⇦ 戦爭で摘みとられる蜜柑の粒は忽ち用意したかますを滿してゆく

⇦ 明るい山畑で鋏さばきも輕く摘みとられる黄金の實

つい先年までわれ〳〵の口にすべき海の幸、山の幸まで節約して外貨獲得のために外國に送り出したものです。罐詰然り、お茶然り蜜柑もやはり美しい粒選りを化粧箱に入れマンダリン・オレンチといふ外國名前までつけてアメリカその他へ輸出したものでした。しかし米貨など一ドルも半ドルも必要でなくなつた今、國内で出來る食糧は殘らずわれ〳〵のものです。蜜柑も最早マンダリン・オレンチといふバタ臭い名前はキツパリ返上してわれ〳〵のためにのみ實つた蜜柑となりました

生憎と昨年から今年にかけては一般に果物類が不作にもかゝはらず蜜柑だけは非常な當り年で、とかく榮養豐かな食糧に不足勝ちな戰時下にこれは又この上ない榮養源として登場してくれました

こゝ有田川下流一帯、紀州蜜柑の本場といはれる保田、宮原、箕島近邊の蜜柑山は早くから黄金色の彩りに美しい粧ひをとゝのへました

『今年蜜柑は五割増收』この喜ばしい報告にこたへ縣下箕島女學校からもこのほど女學生の慰援部隊が出動し、果物の乏しい銃後の各家庭へせめて南國の木の實をとつさりお贈りしませう。戰地の兵隊さんにも懐しい内地の味覺をたんと味づて頂きませうと、樂しいおもひに心を彈ませて蜜柑摘みに奉仕しました

撮影　小石　清

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

樂隊を先頭に市中行進—排米英運動大會

北支派遣軍報道部　撮影

米英殲滅大會場へ結々となだれこむ回教徒の群

支那大陸にも米英撃滅の烽火

東京で盛立ていた旗行進へ—國民大會堂に集結した南京市民

東亞解放民衆大會—ていおに會場を擁熱

長部停宣生柏林特派撮影

支那大陸の西に東に蠢く凱歌をあげて『打倒米英』へまつしぐらに突き進む日本の輝しい威武は、友邦中華民國の民衆にもかつてない感激をよび傳へ、十二月二十日には北京回教徒總會場において華北回教民衆米英殲滅大會が、同二十四日には北京太和殿において中國民衆排米英運動大會が、更に二十七日には南京國民大會堂において東亞解放民衆大會が開かれ、盟主日本への全幅の信頼と協力を誓つて熱血の火柱を盛り上げた

太平洋の西に東に蠢く凱歌をあげて『打倒米英』へまつしぐらに突き進む日本の輝しい威武は、友邦中華民國の民衆にもかつてない感激をよび傳へ、十二月二十日には北京回教徒總會場において華北回教民衆米英殲滅大會が、同二十四日には北京太和殿において中國民衆排米英運動大會が、更に二十七日には南京國民大會堂において東亞解放民衆大會が開かれ、盟主日本への全幅の信頼と協力を誓つて熱血の火柱を盛り上げた

復習室

本誌からあなたは何を學んだでせうか。

1 アメリカ水上機母艦ラングレーは　一國際水艦に撃沈された。　一ソイ眞珠灣日で沈沒した。帝機雷に觸れて沈沒した。　國海軍航空隊に撃沈された。　わが軍艦と間違へたアメリカ空軍に爆沈された。（9頁）

2 もし空襲があつても、それは日本本土の爆破を目的とはしてゐない。諸○○を破壊しようとしてゐるのだ。（10頁）

3 和蘭には全ボルネオ島の石油の中に皇軍が蘭印に敵前上陸を敢行したのはどうしてですか。（9頁）

4 蘭領ボルネオは全ボルネオ島の約　半分。四分の三。十分の一？（10頁）

5 セレベス島はにまんまるい島。　マリのやうに細長い島。　牛蒡のやうな島？　兎が逆立したやうな島？（10頁）

6 皇軍はマニラ入城に際し　マニラ市民の熱烈な反抗を受けた？　米北軍と激しい市街戦を行つた？　市民歓迎裡に無血入城した？　マニラ全市を爆砲撃、道慨ながら灰燼に歸せしめた？（9頁）

7 わが猛襲をうけたシンガポール飛行場はどこにありますか。　ランゲーン近郊？　マレシンガポール近郊？　マニラ近郊？　香港島？（9頁）

8 今度決つた衣料の切符制によると東京の人は一人で何ふ年間に夾のものを全部買ふことができますか？　國民服一着、ソイシャツ二枚、靴下一枚、牛袖シャツ一枚、猫股二枚、手袋一足、ハンカチ五枚、兵古帯一本。（10頁）

9 蘭領ボルネオにもどこかに石油のでるところがありますか？（10頁）

10 メナドは　皇軍がこんど占領したセレベス島の都會？　暑熱ギリス東亞司令官？　暑熱して新戦場に皇軍勇士の渇を癒してくれる珍果？（12頁）

一問十點としてあなたは何點でしたか。

照準器

金錢萬能主義を一掃せよ

杉　枉　夫

犬と犬

小泉紫郎

チャンピオン　有閑ヤンキーマダム御贔屓みたいな犬に無駄飯を食はせて、そんな玩具は太平洋にたゝき込み給へ！

▽消え失せろ！　榎本映一

また、こんなの　1臨検刑警　2スパイ　3出給ボ　4孤燈燈　5大噴ひ　6人種のやつ　7ろ出給ボ　8ヤンキー　9ヤンキー　10女ヤンキー　11ヤンキー　12ヤンキー　13ヤンキー　14ヤンキー　15ヤンキー　16ヤンキー　17ヤンキー　18ヤンキー　19ヤンキー　20ヤンキー　21ヤンキー　22ヤンキー　23ヤンキー　24ヤンキー　25ヤンキー　26ヤンキー　27ヤンキー　28ヤンキー　29ヤンキー　30ヤンキー　31ヤンキー　32ヤンキー　33ヤンキー　34ヤンキー　35ヤンキー　36ヤンキー　37ヤンキー　38ヤンキー　39ヤンキー　40ヤンキー　41ヤンキー　42ヤンキー　43ヤンキー　44ヤンキー　45ヤンキー　46ヤンキー　47ヤンキー　48ヤンキー　49ヤンキー　50ヤンキー　51ヤンキー　52ヤンキー　53ヤンキー　54ヤンキー　55ヤンキー　56ヤンキー　57ヤンキー　58ヤンキー　59ヤンキー　60ヤンキー　61ヤンキー　62ヤンキー　63ヤンキー　64ヤンキー　65ヤンキー　66ヤンキー　67ヤンキー　68ヤンキー　69ヤンキー　70ヤンキー　71ヤンキー　72ヤンキー　73ヤンキー　74ヤンキー　75ヤンキー　76ヤンキー　77ヤンキー　78ヤンキー　79ヤンキー　80ヤンキー　81ヤンキー　82ヤンキー　83ヤンキー　84ヤンキー　85ヤンキー　86ヤンキー　87ヤンキー　88ヤンキー　89ヤンキー　90ヤンキー　91ヤンキー　92ヤンキー　93ヤンキー　94ヤンキー　95ヤンキー　96ヤンキー　97ヤンキー　98ヤンキー　99ヤンキー　100ヤンキー　101ヤンキー　102ヤンキー　103ヤンキー　104ヤンキー　105ヤンキー　106ヤンキー　107ヤンキー　108ヤンキー　109ヤンキー　110ヤンキー　111ヤンキー　112ヤンキー　113ヤンキー　114ヤンキー　115ヤンキー　116ヤンキー　117ヤンキー　118ヤンキー　119ヤンキー　120ヤンキー　121ヤンキー　122ヤンキー　123ヤンキー　124ヤンキー　125ヤンキー　126ヤンキー　127ヤンキー　128ヤンキー　129ヤンキー　130ヤンキー　131ヤンキー　132ヤンキー　133ヤンキー　134ヤンキー　135ヤンキー　136ヤンキー　137ヤンキー　138ヤンキー　139ヤンキー　140ヤンキー　141ヤンキー　142ヤンキー　143ヤンキー　144ヤンキー　145ヤンキー　146ヤンキー　147ヤンキー　148ヤンキー　149ヤンキー　150ヤンキー

▽形より心、物より精神　南義郎

と、道物をまとつてゐても、これではヤンキー級のモノを捨てゝ洋髪に身を包んでゐても、こゝに立派に大和撫子

▽親父教育　森猛

ラッカ　勉強してゐたとお金を儲けるんだよ。　お父さん！　そんな考へを持つてゐると英米主義の非國民になるよ。

昭和十七年一月二十一日印刷發行

編輯者　情報局

東京市麹町區丸ノ内三丁目一二

印刷者　内閣印刷局

發行者　東京市麹町區大手町

定價　一部　十錢

▲發行配達御希望の方は一部十錢（外國郵便に依る場合は十九錢）の割合を以て前金を添へ御申込みください

▲特大號の場合は其の都度御申込金より差額を申受けます

申込所

内閣印刷局發行課　電話丸ノ内(23)三二一九　振替東京一九〇〇〇

全國各地官報販賣所

書店・郵賣店

新聞販賣店

寫眞材料店

★表紙

轟々と地軸をゆるがす鋼鉄陣の威容

見よ、無限軌道を鳴動して迫る戦車の重厚感を。この鋼鉄の城塞の進むところまつろはぬ者凡てをおし挙げ、そこに日章旗は高らかに翻へるのだ。

觀兵式に引續き行はれた戦車部隊の講事攻防行進

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

寫眞週報
昭和十一年一月一日第三種郵便物認可 昭和十七年一月廿一日發行 二月五日 同月廿四日 第三百四號

戰捷感謝

明治十二年八月
資本金七千五百萬圓
本社 東京市[illegible]ノ内一丁目六番地

東京海上火災保險株式會社

營業種目

海上運送
利益森林
風水害
自動車
硝子
盜難
傷害
航空

出張所
大阪 神戸
横濱 名古屋
京都 廣島
福岡 新京
上海

內閣印刷局印刷發行

(本書の大きさは國定規格A4(週報判))